

やひこ 議会だより

181号

平成28年4月25日

弥彦村議会

〒959-0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL (0256) 94-3131 (代)
TEL (0256) 94-1028 (直通)
FAX (0256) 94-3216
<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>
Eメール: gikai@vill.yahiko.niigata.jp



広域農道沿いの桜並木と菜の花

3月定例会

村の財政状況(総括質疑)..... P3~5

おもてなし広場直売所建設へ(委員会)..... P5~7

バリアフリー化された弥彦公園(弥生さん)..... P8

活発な一般質問(7名の一般質問)... P9~15

3月定例会

3月8日
～
22日

平成28年第2回3月定例会は、3月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。

平成27年度一般会計及び特別会計補正予算、外部監査条例の制定、課設置条例の改正、平成28年度一般会

計、特別会計、企業会計当初予算など、村長から提案された46議案を慎重に審議し、議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正を除く議案は原案どおり可決しました。
(28年度一般会計予算は賛成多数、

で可決)
一般質問では、7人の議員が、小林村政の1年、18歳選挙年齢引き下げ、除雪体制、28年度施策、相撲の郷プロジェクト、総合福祉計画など、村政に対する質問を行いました。

3月定例会で決まったこと

平成27年度補正予算

一般会計

1億2961万円を追加し、総額は4億2554万円となりました。

歳入の主なもの		歳入の主なもの	
・固定資産税	1000万円	・商工費	1億1185万円
・地方交付税	246万円	・観光費	455万円
・国庫補助金	9117万円	・土木費	455万円
・県補助金	2940万円	・雪害対策費	455万円
・村債	350万円	・諸支出金	455万円
		・寄付金積立基金費	1600万円
		・予備費	4312万円
		・国民健康保険特別会計	
歳出の主なもの			
・総務費	1774万円		
・企画費			
		総額は9億6730万円となりました。	

・民生費 764万円
・社会福祉総務費 764万円
・農林水産業費 339万円
・農地費 339万円
・農業経営基盤強化対策事業費 2902万円

介護保険特別会計
2848万2000円を減額し、
総額は8億2401万6000円
となりました。

競輪事業特別会計

6117万2000円を減額し、
総額は156億7800万円となりました。

水道事業会計

収益的支出

174万1000円を追加し、
総額は2億1551万円となりました。

平成28年度当初予算

当初予算の内容は、広報やひこ4月8日号(予算特集号)をご覧ください。

条例の制定

外部監査契約に基づく監査に関する条例

行政不服審査会条例

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

職員の降給に関する条例

職員の退職管理に関する条例

特別職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例

防犯灯及び街路灯整備基金条例

受益者負担に関する条例

行政不服審査法の規定による提出書類の写し等の交付に係る手数料に関する条例

子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例

条例の全部改正及び一部改正

- 課設置条例の全部を改正する条例
- 行政手続条例
- 個人情報保護条例
- 情報公開条例
- 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例
- 職員の育児休業等に関する条例
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例
- 職員の給与に関する条例
- 村税条例
- 村税条例の一部を改正する条例
- 固定資産評価審査委員会条例
- 保育園条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 放課後児童クラブに関する条例
- 指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
- 道路占用料徴収条例
- 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（否決）
- その他の議案
- 専決処分報告について
一般会計補正予算（3月8日専決）
既定の歳出予算の組み替え
- ・土木費 雪害対策費750万円
- ・予備費 750万円
- 村道の認定
- 議会会議規則の一部を改正する規則

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦
かしわばら りょうえい
柏原了永さん（麓二区）
の推薦（再任）に同意しました。
任期は本年7月1日から平成31年6月30日までの3年間となります。

総括質疑

3月11日

一般会計補正予算

教育費

田中議員 上部大会出場等の

- 補助金支給基準は。 定である。村民の方へは検討中である。
- 教育課長 中体連等公な団体が主催する、北信越大会以上へ出場する個人及び団体へ支給する。 ふるさと納税の返礼品は
- 防災ラジオの配備先は 小熊議員 その内容と品不足の対応は。 総務課長 地元の産品を品ぞろえをすることにより、地元の活性化に寄与できる。
- 小熊議員 購入費85万円の内容と配備先、希望者は。 村長 弥彦米が品不足した場合、予約していただき後日配送したい。
- 総務課長 60台分の購入費であり、配備先は、各消防団、各集落公会堂、各旅館等の予算である。村民の方へは検討中である。
- 地域自殺対策強化補助金 板倉議員 1万1000円補正計上されたが、合計金額はいくらでどんな対策をするのか。 住民福祉課長 合計で11万1000円で、専門の先生による相談と心の悩みで講演会等を考えている。
- 板倉議員 予算があまりにも少ない。増額して対象者を絞り、個別相談出来ないか。 住民福祉課長 今後検討したい。
- 決算資料 板倉議員 決算カードによると、24年度から赤字で、今まで村から赤字と発表がない。どのように認識し、なぜ赤字になったのか分析しているか。 総務課長 22年度から分析した。22・23年度は黒字、24年度から赤字になったが、弥彦

決算カード = 総務省が発表する地方自治体の財務諸表。

公園の整備が原因と思う。

村の顧問弁護士料の補正

柏木議員 当初予算に計上しているが、今回の補正93万2000円の内容を知りたい。

総務課長 裁判関係の諸手続き費用である。

子育て支援事業委託料

赤川議員 システム委託料108万円の内容は。

住民福祉課長 28年4月から年収360万円未満世帯に対して、保育料を18歳未満の子ども全てを含めて、第2子を半額、第3子以降を無料にする改正が行われるため、システム改修する費用である。

条例例

弥彦村個別外部監査契約に基づく監査に関する条例

柏木議員 有権者・議会・村から監査請求が提出されたときは外部監査委員を弁護士等委嘱するが現在の監査委員との関係はどうなるのか。

総務課長 地方自治法の規定での条例制定である。テーマを決め補助金なら補助金を中心に掘り下げて監査する。補助金を出している団体も監査の対象となる。現監査委員の意見を踏まえた上で判断する。

課設置条例の全部の改正

柏木議員 設置条例で2課増える。補助金等を縮減する中で課を増やす理由は。

総務課長 産業振興課は仕事のポリウムが多く、住民福祉課は窓口対応の強化、高齢者福祉や健康対策の強化で2課増となる。

当初予算

商工会補助金375万円減

阿部議員 村長は「商工会と一緒にやってやりたいことがたくさんある」と言うが、商工会では、相談を受けたことは無いと言っている。村から具体的な要望を出して、逆に事業費として補助金を上げる方が、理屈が通るのではないか。

村長 基本的には村からではなく商工会が決めて、村に要望するものと思う。

村の財政状況

安達議員 現状のままでは数年で破綻するということについて、具体的な説明を。

村長 1年間、村政運営を行ってきたが、率直な気持ちは、従来どおりの財政運営では財政破綻もあり得るという危機感を強く感じている。

当初予算において、平成25年度から3年連続で、財政基金を取崩して予算編成してきた状況を踏まえて、弥彦村における財政健全化元年と位置づけ、当初予算編成を行ったので理解をいただきたい。

安達議員 新規及び増額事業の財源は既存事業の廃止、縮減を行い、少年少女のスポーツ団体を含む各種団体の補助金で総額2200万円を縮減した。

ほかのところで財源確保する方法があつたのではないかと思うが。

村長 村の予算について、全部、ゼロベースで見直す機会だと思っている。

基本的な財政運営を見直す機会がないと判断して、大変厳しい予算を編成した。

安達議員 非常に厳しい財政状況であるということであれば、財政状況の説明と財政再建

計画を策定し、書面で理解を求める必要があるのではないか。

村長 村民から安心してもらうために「財政健全化計画」を策定したい。

ふるさと納税

阿部議員 新年度予算の歳入で1億1000万円を計上しているが、各地で過熱気味になっている。確実な財源と言えるのか。

村長 28年度は、私の感覚では3億円までできると思うが、堅実な目標を見込んだ。

ふるさと納税のお返しに

柏木議員 記念品のお返しの中に弥彦観光パンフレットを入れてどうか。また、インターネットをもっと充実できないか。

村長 パンフレットは、是非実施したい。

総務課長 旅館・ホテルのインターネットがリンクされていない。ポータルサイトと調整する。



活動する空手スポーツ少年団

補助金の減額理由は

赤川議員 スポーツ少年団の

補助金22万円から3万円に減

額された理由と少年団数は。

教育課長 3万円は、少年団
の上部団体への負担金である。
運営補助金に該当するため減
額。少年団数は8団体である。
村長 財政状況が好転すれば、

その時点で考えたい。

旅費の増額理由は

赤川議員 昨年度42万600

0円、その後20万円を補正し

た。今年度はそれをはるかに

上回る150万円である。増
額の理由は。
総務課長 国との調整の実績

等を勘案し、4月以降副村長
も一緒に行く状況もあり、積
極的に国に働きかける事を考
え増額した。

ハザードマップ作成

柏木議員 避難訓練の中に障
害者・お年寄り等を手助けす
る個別計画作成を。

総務課長 防災会議に提案し
議論したい。

おもてなし広場

本多議員 当初整備計画より
予算規模、内容とも大きく変
わると思うが、事業計画、費
用対効果など具体的数値等で
示していただきたい。

総務課長 地方創生加速化交
付金の決定を受け、全体的な
計画の中で専門家も含めて委
託し、提案させていただく。

総務文教常任委員会

議員報酬引上げを全会一致で否決

3月14日

防に係る償還の数が当初見積
より増え、補正するもの。

議員報酬改定を否決

付託された補正予算1
案件、条例23案件のう
ち、第19号を除く条例
22案件、当初予算1案
件は全会一致で可決し
ました。

条例制定

問 弥彦村職員の降給に関す
る条例について、具体的な内
容は。

答 弥彦村議会議員の報酬につい
て人事院勧告に準じ、年間支
給月数0.2月分引上げる条例に
対し、財政状況を踏まえ先送
りしたいとの意見・討論があ
り採決の結果、全会一致で否
決することに決定しました。

問 予算的に2名が限度、付
添人1名も含む。弥彦村初の
国際交流であり意義あるもの
と確信している。

問 小学校児童に自転車走行
の安全運転指導の徹底ができ
ないか。

主な質疑事項

27年度補正予算

問 消防費の負担金補助及び
交付金で常設消防償還特別負
担金の内容は。

答 はしこ付き消防自動車、
デジタル無線機などの常備消

28年度当初予算

問 国際交流事業費200万
円は、中学生2名がモンゴル
へキャンプ参加すること、
2名で効果はあるのか。また、
付添人の経費は。

答 3月28日に運用が始まる。
毎月1回第4月曜日の午前9
時55分に試験放送を行う。
一般家庭に防災ラジオを設
置する場合は、個人負担の額
の設定など他の自治体に確認
するなど検討したい。

他に小学校費の備品購入、
ワールドカップの開催、ジュ

答 学校では交通安全指導を
春休みに向け行っている。改
めて学校に指導するよう願
いする。

問 競輪駐車場に仮設テニス
コートを設置し、合宿地とし
て誘致ができるのでは。

答 教育委員会だけでなく全
体で協議しなければならない。

付託された専決補正1案件、補正予算4案件、条例7案件、当初予算7案件、その他1案件は全会一致で可決しました。

主な質疑事項

27年度補正予算

問 消費者ニーズ、販路拡大調査業務委託料の調査内容は、おもてなし広場の販売拡大調査なのか。

答 地方創生加速化交付金で弥彦産農産物の消費者ニーズや販売方法の調査委託であり、おもてなし広場や一つの団体を特定しての販売拡大調査ではない。

問 直売所棟整備費と今後のスケジュールは。

答 設計監理と工事に6カ月半かかる。11月のオープン予定である。交付金が決定したらスケジュールを示したい。

28年度当初予算

問 直売所棟整備費及び80万円の備品購入費は何か。

答 ショーケースや冷蔵庫などである。

問 昨年度国保税の税率を上げた。今後も見直しはあるか。

答 基金もなくなった状況であり税率7%程度の見直しを考えている。

問 放課後児童クラブの新たな基準の内容は。また、児童クラブ支援員の増員は。

答 児童1人あたりのスペースを1・65㎡で、支援員は1施設2名以上、定員40名に運営基準を定めた。児童によっては、専属に1名必要な場合もあり、増員も検討したい。

問 保育園工事請負費40万円の内容は。

答 弥彦保育園で網戸を取付ける費用である。

問 保育園備品購入費100万円の内容は。

答 二松保育園のガステーブルと食器消毒乾燥機、弥彦保



調査を終えた弥彦山

育園の拡声器の購入費である。

問 不法投棄防止用ネット設置費65万円の設置場所は。

答 林道弥彦観音寺線に約100mの有刺鉄線を設置する。

問 地域活動補助金95万円と資源ごみ回収当番が組めない地域の対応は。

答 リサイクルステーションの運営費である。当番が組めない地域は区長さんや環境衛生委員にお願いしている。

問 環境衛生維持修繕費74万8000円の内容と、ごみステーション設置の補助金は。

答 リサイクルステーション3基分である。補助金額は1基2万5000円で、各地区からの要望に対応する。

問 勤労者福祉サービスセンタ 負担金と事業内容、加入者数は。

答 中小企業の勤労者が1人500円再加入できる。福利厚生等の割引などがあり、会費と燕市・弥彦村の負担金で事業を運営している。村の会員数は320人程である。

問 木質バイオマス発電調査委託料100万円は弥彦山の木材量が不足のための調査費であるが、他の自治体の山林を調査できるのか。

答 木材量は不足であるが、実際の数字をつかみたい。他の自治体からは首長の同意をいただいている。

問 相撲の郷プロジェクト、300万円の内容は。後援会、弥彦神社との関係は。夏合宿時の子どもたちや高齢者の方々と交流はできないか。

答 夏合宿の事業経費であり、後援会、弥彦神社にも協力をお願いしている。合宿には子どもや高齢者の方との交流を検討している。

付託案件外

ヤホールの屋根雪止、県央医師会応急診療所、婚活支援事業、村政懇談会、公園のトイレ、デイサービス、歩道除雪などに関する質問がありました。

問 水稻新品種栽培支援事業補助金200万円と「新之助」の作付面積は。

答 補助金は品質検査で機器が必要な場合の予算計上で、作付面積は、村内で70aである。

競輪特別委員会

サテライト阿賀野廃止

3月11日

付託された補正予算及び平成28年度当初予算の2案件は、全会一致で可決しました。

主な質疑事項

当初予算

採決

3月22日

最終日において、総務文教委員長及び厚生産業委員長からそれぞれ付託案件について報告の後、質疑及び討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

総務文教委員長報告後の質疑、討論

阿部議員 スポーツ少年団やボーイスカウトの補助金が全額カットとなったが、大きな反響を呼んでいる。子どもたちの健全育成の観点からこれに限って再検討できないか。

村長 財政健全化のため、例外なく村民の皆さんから痛みを分かち合うことを基本としているが、補助金の

サテライト阿賀野廃止

問 サテライト阿賀野場外売場の廃止理由は。

答 現在赤字ではないが、今後維持管理費が多くなるので、設置・運営会社としては撤退する意向である

問 廃止時期は。

答 夏頃になる。

問 サテライト阿賀野が廃止になった場合の影響は。

答 売上げ額の減少、施設借上げ料及び業務委託料が減額となる。

ミッドナイト競輪

問 将来ミッドナイト競輪を実施したいとのことであるが、

施設面だけでなく光や音など周辺に対して対策はどのように考えるか。

答 打鐘は7レース分で、他の開催場では、鐘を打つ力を弱くし、音を控えめにする対策をしている。

弥彦での実施に向けては、打鐘を試し、周辺住民の理解を得たい。

問 ミッドナイト競輪の開催時期は。

答 開催時期は、4月から11月上旬までの中で、全国的な調整を行った後に決定する。

問 照明の虫対策は。

答 青森競輪場での虫対策を参考にし、周辺の影響も考慮する。

趣旨から一歩踏み込んで努力させていただく。

赤川議員 国際交流は視野を広げるため大切と思うが、補助金削減の中で100万円を使って中学生2名をモンゴルへ国際交流派遣するのは、スポーツ少年団等と同じ子どもなのに不公平を感じる。

村長 無駄、慣例を見直し、新しい事業を展開しなければ村は活性化しない。国際交流は村で初めて、これからも考えていきたい。100万円は後で明細を示す。そこで判断をしていただきたい。

関連して、小熊議員から国際交流事業費予算について反対討論がありました。

厚生産業委員長報告後の質疑、討論

本多議員 観光費のおもてなし広場直売所建設について、地方創生加速化交付金事業決定後は全体計画、事業計画を提案していただくと理解して良いか。

村長 そのとおりで、先程満額交付金が決まり、これから具体的計画づくりに入り、3年計画で実施したい。本多議員 よつば森林組合の報告では、弥彦村は木質バイオ発電事業の実現は厳しい状況である。35KW発電位とのこと。この調査をもとに、バイオマス発電のやるやらないの判断が出来ないのか。100万円の調査費を計上する理由は。

村長 調査は既存の林道から25m以内で伐採した木で発電した場合という限定付きである。自然保護・景観を損なわないで伐採する方法、山林所有者との売買契約など時間をかけ適正な対価を払って協力をお願いすれば可能であると思うし、検討する余地があると考え。新任副村長と相談しながら決断するつもりでいる。

本多議員から平成28年度一般会計当初予算のうち木質バイオマス調査委託料、水稲新品種栽培支援事業補助金、相撲の郷プロジェクト負担金の各予算に対して反対討論がありました。これに対し、板倉議員から相撲の郷プロジェクト負担金について賛成討論がありました。

バリアフリー化された弥彦公園

弥生さん こんにちは。とても春らしくなりましたね。散歩ですか。

ギカイ君 冬場の運動不足でメタボ体形に成りだしたので、弥彦公園を散歩してきました。

こんにちは
弥生です

弥生さん 私は毎朝、愛犬と散歩していますよ。山桜や、こぶし、かたくり、すみれなど咲いていて、とても気持ちの良い時期になりましたね。ギカイ君 そうですね。春の陽に山野草や木々がとても生き生きして、心身ともリフレッシュしますね。

ツシユしますね。

弥生さん 公園内は、バリアフリー化され散歩道も舗装されて歩きやすくなりましたね。子どもや高齢者、車いす利用者にも、やさしい公園になりましたね。いろいろなコースを愛犬と歩いていますよ。

ギカイ君 平成22年度から始めたバリアフリー化工事もほぼ終わり、これから桜も咲き、湯かけまつりなど賑わいますね。

弥生さん 水芭蕉、桜からつつじ、新緑、紅葉と一年を通じ楽しめますね。

ギカイ君 紅葉と言えば地方創生加速化交付金で、越後三大紅葉ライトアップ事業、長岡市、柏崎市、弥彦村で紅葉ライトアップを行うとのこと。秋のもみじ谷も楽しみです。弥生さん それは楽しみです。城山森林公園も工事をしていましたよ。

ギカイ君 平成26年から予算に応じて県事業で整備してきました。当初は全国森林浴の森100選にも選ばれました。

近年立木も伸び、荒れていたのですが、ようやく遊歩道や階段を直し、歩きやすくなり、雑木も伐採したので明るくな

りました。隣接のキャンプ場も、昨年は休業でしたが、今年から使えるとのことですよ。弥生さん それは良かったです。夏に子ども達とバーベキューができますね。

ギカイ君 弥彦村は、弥彦公園、弥彦山頂公園、弥彦山森林公園と、それぞれ個性的で美しい公園がありますから、時間を作って行くようにすればメタボも解消できますね。

弥生さん 地元にいると自然や公園のありがたさがそれほど感じませんが、とにかく出かけて歩いて季節を感じてほしいですね。ギカイさん健康に気を付けて下さいね。

ギカイ君 ありがとうございます。気を付けます。



高 齢 者 に も や さ し く な っ た 弥 彦 公 園



柏木文男 議員

18歳選挙年齢引下げの周知は 弥彦村プレミアム商品券終了に伴う総括は

村長 = 新有権者から投票立会人を検討

質問 昨年4月県議選で20歳代前半の投票率は20%にとどまった。18・19歳の新有権者に対し、どのような周知を行うのか。

小・中学校では、どのような方法で教育指導を行うのか。

教育で若い年代から政治に興味を持たせ、自分の意思を政治に反映させ投票率アップさせることはできないか。

村長 今年7月の参議院議員選挙から適用される。村の新有権者は165人、村の有権者の2.4%に当たる。村のホームページで選挙年齢が18歳に引下げられたお知らせ、広報やひこ3月号でのお知らせ、村内コンビニに総務省のチラシ掲示のお願いをした。

村・県・国政に対し関心を示し

てもらいたいと思うのが率直な思いである。

教育長 小学校は6年生が社会科、中学校は3年生が公民で仕組・役割・選挙に参加することの大切さについて学習している。小・中学校で選挙年齢が18歳に引き下げられたことについて学習を行った。

中学校では生徒会役員選挙で選管から投票箱を借用し全生徒が投票する場を設け、興味・関心を高める取組を行っている。

質問 総務省では新潟市でシンポジウムが開かれている。若い人の気持ちを知らないと思う。周知ができませんか。

新有権者から投票立会人になってもらい、新しい意識が出てくるのではないか。以前、5年間子ども議会が行われた。

も議会が行われた。

議場に立つことで政治意識が出てくると思う。

質問 プレミアム商品券を8月1・2日、ヤホール、ひらせいホームセンターで発行総額8400万円、7000セット、限度額一人当たり5万円、5セットで販売した。商品券は完売したが、発売方法に問題があったと聞く。

今後も商品券を販売することがあると思うが、反省点・改善等を伺いたい。

村長 換金利用率は99%であった。参加店は89店舗である。売上比率は麓地区11%、矢作地区50%、弥彦地区39%である。上位5店舗で56%を占めている。

反省・改善については一人当たり5セットを初日で何回も並んで買った人がいた。翌日行ったが売り切れであった。事前に各世帯から予約を受け付け、それ以外の部分を一般販売に回すなど、公平性を確保した販売方法を検討する必要がある。税金を使う事業については公平性が非常に重要であると認識している。



総務省の啓発ポスター

村長 新有権者の投票立会人については前向きに検討したい。

教育長 子ども議会について学校当局と相談して、前向きに考えていきたい。

実行委員会に参加店に対してアンケートの実施等を協議する予定である。

おもてなし広場のテント 倒壊は人災ではないか

村長 = 十分に手を尽くしておれば防げた



田中満男議員



倒壊したテント

質問 おもてなし広場の常設テントは、耐雪設計限度が20cmの施設であり、今回の降雪での倒壊は予測できたはず。何もやらなかった事は人災では。再びテント設置をするのか。

村長 天幕を外す事も含め十分に手を尽くしておれば倒壊は防げた。この件の責任を取り、自身の給与を3カ月間10分の1減額し、担当課長も懲戒処分した。

おもてなし広場の工事再開もある。大型テントの設置はない。

質問 今年から除雪業者が、一部変わって担当地区も変更になり、

住民も不安視していた矢先に1月の降雪。対応の悪さには、住民の多くの方から苦情が相次いだ。請負業者の意識の問題と、オペレーターの資質の問題があると思う。

村長 今年の問題点を検証し、除雪対策を根本から見直し、オペレーター技術向上のため研修の実施も検討したい。

質問 旧観光ホテル解体工事はいつから始まるのか。整備事業費はどうするのか。

村長 解体工事の着工時期は6月頃から約7カ月を予定している。社会資本整備交付金を活用して整備する。解体費用2億円は新年度予算で、29年度に駅前広場整備に3000万円を見込んでいる。交付率は最大40%、残り60%の9割は起債充当。償還金は交付税措置され、20年間で償還する。

質問 木質バイオマス発電計画について、中越よつば森林組合に調査委託した結果は。今後の課題と見通しはどうか。

村長 基礎となる資源量の把握について、4カ月かけて弥彦山山系を調査した。確保できる年間推計重量は、823tという結果になった。弥彦村が検討している

300kW程度の小規模な木質バイオマス発電でも、この数字は厳しい状況。県内の木質バイオマス発電事業は、新潟市・三条市・関川村の3施設で取組み、必要な木材量は14万m³。県全体で確保できる木材量は、年間12万4000m³程度で、需要が供給を上回っている状況であり、弥彦村単独での木質バイオマス発電事業は、新しい農業の推進に寄与できるかも含めて、もう一度検討し可能性を探るためにも調査していきたい。

質問 弥彦神社をはじめとして、弥彦には他にない、素晴らしい観光資源がある。残念ながらこれらを活かしていきたくないと思う。駅前を整備するにあたり、駅前広場・弥彦公園・ヤホール・おもてなし広場・弥彦神社そして競輪場・美術館それに弥彦の名所史跡なども含め、点ではなくて線と面でビジョンを描いて頂きたい。

村長 弥彦駅前広場整備と並行して、弥彦山も含めて面として一体的な弥彦観光の再見直し、新しい計画も含め交付金が決まり次第進めたい。



阿部正秀議員

除雪遅れ防災無線で おわびする結果をどう考えるか

村長 = 初動対応が遅れた



フル稼動した除雪車

質問 1月24・25日の大雪では、本村も甚大な被害があった。

村長は建設業者の指名停止の時に「除雪に支障をきたすことだけは絶対にあつてはならない。万全な体制で臨む。」と言われた。にもかかわらず除雪は遅れ、村民からの苦情も多く26日の夕方には、除雪作業のおわびとお願いの防災メールの配信と防災無線の放送を流す結果になったことをどのように受け止めているのか。

また、雪の障害で村民の安全な生活が脅かされることがないように来シーズンに向けてどのように

考えるか。

村長 正直言って今回初めて圧雪道路という言葉を知った。26日朝、建設企業課長から出勤許可願があったが、轍わだかまができるのは雪国の宿命という固定観念があり、出勤を許可しなかった。その後、自分で見回って見てものすごい状況であることが分かり除雪を指示した。結果的に出勤が遅れ、村民に迷惑をかけたことをおわびしたい。

今後は、11月に雪害対策本部を設けていては間に合わないので4月から立上げ、除雪技術向上の講習や担当地域の道路状況の調査などを行うよう取組んでいきたい。

質問 昨年の3月議会において村長は「弥彦に來られたお客様をおもてなしして弥彦観光の活性化につなげるため、株式会社さややを立ち上げ、地元野菜や塩むすびを提供して、多くの方に楽しんでいただく盛況ぶりを示し、出資者を募っていく。」と言われた。しかし、現状はお世辞にもぎわっているとは言えない。NPO弥彦観光が運営していたヤホールでは、1年目は5万人、2年目は11万人が訪れたが、おもてなし広場にはどれくらい訪れているのか。

村長 現在さややは週4日の営業で1日30〜40人の来店者と聞いている。役員が手弁当で支えている現状だが、地域のスーパードとして生活機能維持向上に寄与しており、現在申請中の地方創生加速化交付金のポイントになっている。民間主体というニュアンスがあるので、審査の得点も高いと思う。交付金が7300万円つけば28年度に直売所、29年度レストラン、30年度にはイベント棟を整備して行く。

質問 塩むすびと焼きカレーの構想はどうなるのか。

村長 実際にご飯を炊くのは朝早くからやらなければ間に合わず、甘く考えていたことは認めるが、村民との約束であり、諦めてはいない。3年後か来年になるかわからないが、いずれ必ず実現して名物にしたい。焼きカレーはいつでもできるので、体制を見ながら考えていきたい。

おもてなし広場今後の成果は

村長 = 直売所建設整備を具体化



本多 隆峰 議員

質問 おもてなし広場の成果についてもう一度仕切り直して具体策を検討したいとのことであるが、その方策は。

村長 弥彦さややは、厳しい状況が続いているが常設的な場所ものの販売所ができたことで地域住民の生活維持、向上に寄与している。地方創生の総合計画の中で、村内の民間による積極的参画が重要である。地方創生加速化交付金により、直売所の建設、その後レストラン等整備したいと考えている。



写真提供：JA 越後中央弥彦支店

東都生協組合員との交流(平成26年度)

質問 おもてなし広場の使用形態については、年間1㎡当り500円日割計算で使用料をいただいているとのこと、今後はそれ相応の公共用地使用契約を締結すべきではないか。

村長 近隣市町村の状況をしながら条例改正の必要性について検討していく。

質問 米の特裁米の上乗せ助成で、直播栽培助成で10a当たり1万円を5000円に、減米出荷助成30kg200円を150円に減額するのと、その理由は。

村長 弥彦村特裁米部会長及び弥彦村営農組織協議会長から連盟で農業機械や施設に対する新規助成をとの要望があり、新年度予算で新規増額の財源は、既存事業の廃止縮減をもって捻出することを大原則とし減額した。

質問 東都生協との27年度交流は、また販売見込み、今後の見直しはブランド米のネーミングを募集されたが、生産者側としてコンプラ

イアンズ(法令順守)という観点から、産地表示に問題はないか。

村長 東都生協の産地交流予算が減額され、稲刈りツアー、枝豆収穫体験は行えなかった。無無米は18t、減減米60は537t出荷予定、枝豆は4.7tで339万円の販売であった。産地表示については「弥彦村の農家が丹精を込めて作ったお米です。」といった表現でPRしていきたい。

質問 ESCO事業について一世帯200円負担により、10年15年後の交換時に備えるための基金を設立し、財政事情にも充当できるように条例に盛り込みたいとのこと。基金の趣旨を逸脱するのでは。

村長 災害時の非常事態が起きたときに基金の取崩しに関して柔軟に対応できるようにするためのもので、目的以外のことに充当するものではない。

東都生協

東京都世田谷区に本部がある、組合員数23万人の生活協同組合。



小熊 正議員

越後之國やひこ相撲の郷プロジェクトの 取組みとモンゴルフェアについて

村長 = 中学生の交流を考えている



大盛況だった彌彦神社相撲場開き

学校の授業に取込んで子ども達と一緒になっ

質問 昨年弥彦神社御遷座100年記念奉賛行事として、横綱日馬富士関の奉納土俵入が、新しくなった相撲場で開催され、村民をはじめ来場者に変喜ばれたと思う。そこで越後之國やひこ相撲の郷プロジェクト実行委員会を設立された経緯を伺う。また、後援会と一緒に取組むことはできないか。

村長 弥彦神社の相撲場を地域の宝として活用し、弥彦を相撲文化発展の中心地に育てていくために相撲の郷プロジェクトを設立した。

後援会は部屋の隆盛を願う支援するもの。村は交流を通して発展に寄与していくことが目的である。合宿には総勢36人位が参加予定である。現在実行委員会では今年の伊勢ヶ濱部屋夏合宿に向けて、体制強化、合宿期間の行事日程の協議を進めている。

質問 伊勢ヶ濱部屋夏合宿の内容、合宿の経費と予算面の方策を伺う。村長 夏合宿を弥彦の新しい夏の風物詩として、モンゴルフェアや他の団体が行っている夏のイベントを、この期間中に開催することにより、春の湯かけまつり、桜まつりから秋の菊まつりの間の一大イベントに育てたいと考えている。相撲の郷プロジェクト実行委員会負担金として300万円計上している。また、協賛企業に働きかけて協賛金を250万円以上募りたいと思っている。上地区に相撲の指導をしている人がいるので、

て発展させたい。新しい弥彦の文化となるよう考えている。

質問 モンゴルフェアが昨年11月に開催された内容や今年度開催予定の内容を伺う。

村長 昨年11月14日から11月23日までの10日間、ヤホールを会場に弥彦モンゴルフェア2015を開催し、モンゴルの移動式住居ゲルの展示を中心に馬頭琴コンサートやモンゴル書道展など行った。会場の外では広域連携を進めている粟島浦村や出雲崎町の特産品販売のほか弥彦村特産品PR販売を実施し、10日間で合計1万人の来場者があった。28年度は相撲の夏合宿に合わせて開催予定であり、また弥彦モンゴル友好協議会を立ち上げて、モンゴルの自治体と姉妹都市関係を結び、弥彦の子ども達とモンゴルの子どもの交流を28年度に開始したい。

保育料負担軽減は施策で

村長 = 子育てファンドから支給



赤川 幸子 議員

質問 村長は、昨年3月定例会で木質バイオマス発電建設は県からの補助金、交付金を導入し、森林資源の調査を1年かけて行うとの答弁であったが、結果はどうか。

村長 調査結果からは、弥彦村単独で木質バイオマス発電事業を取り巻く環境は、非常に厳しいものがある。弥彦村の農業活性化のために木材を使った農業政策ができないか検討している。

質問 村長は、最初から厳しいのは分かっていたと話されたが、今

年度角田山・国上山等に調査費として、100万円計上された。その結果を受けてバイオマス発電の継続をもう一度考えるのか。

村長 新規の事業については、問題・障害があるのは当たり前なので、もう少し見極めがつくまで調査を延長し検討したい。

質問 子育てファンドの運用委員会を立ち上げると言われたが、子ども・子育て会議に組入れた理由は。保護者説明会の参加者数は。また、主な意見は。

村長 国が設置義務を課した子ども・子育て会議で審議することが適当と判断した。運用は、保育料の負担軽減である。

住民福祉課長 保護者の参加者は7名。主な意見は、保育料負担軽減、中学校の体育着購入半額助成、インフルエンザ予防接種助成拡大等があった。また、子ども・子育て会議としてホームページの掲載や保育園・小学校へのチラシ配布をして意

平成28年度二松保育園入園式

見を聞いた。その中で子ども達が地域活動やクラブ活動等で上部大会への補助、保育士処遇改善等の意見があった。

質問 保育料負担軽減の内容は。住民福祉課長 現在8段階を11段階に細分化し、そのランクに該当した世帯から申請書を提出してもらい、後で差額をファンドの中から支給する。

質問 申請書の提出などなく、施策の中に組入れた方がいいのではないか。

村長 子育てファンドを使った政策であることが分かっていただけなのであれば検討したい。

質問 高齢者福祉は重要と思うが、今後の計画は。

村長 新年度から県の人事交流を通じて、専門知識を持った実務経験のある方に来ていただき、今の体制の中で一緒になって考えてもらいたいと思っている。包括ケアシステムは村の主導権が発揮できるような形にしたい。最後は在宅ケアになるので医師会との協力体制を築きたい。



板倉 恵一 議員

総合福祉計画書の内容は

村長 = 地域包括支援センターで 住民の健康と福祉向上を支援



弥彦村地域包括支援センター

質問 人口に占める65歳以上の割合を高齢化率と言うが、新潟県では平成2年で15・3%その25年後で30%になったと県のまとめで分かった。弥彦村でも、23年から毎年1%づつ上昇している。昨年弥彦村総合福祉保健計画書が出された。高齢者の方々が住みなれた地域でいつまでも健やかに安心して生活できる村にするため地域包括センターは大切である。指導は行政が行なっているのか。所属及び管理者はどこか。職員は何人で、仕事は何か。

村長 村の高齢化率は、23年10月

現在23・8%だったものが、27年10月現在には27・4%と確実に高齢化が進んでいる。ずっと村で暮らし続けられるようニーズに応じた適切に行いたい。

弥彦村地域包括支援センターは、業務を桜井の里福祉社会に委託し、資格職員1名と保健師1名で運営している。

主な業務は、高齢者が要介護状態となることを予防するため、予防ケアマネージメント等を行い、住民の心身の健康維持・生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援している。今の体制は桜井の里に全部委託。これからは村がもう少し前面に出て、桜井の里、村民の皆さんと一緒に作った包括ケアシステム作りをしたい。

質問 年間で弥彦村の延べ相談件数と、特別養護老人ホームの待機者は何人いるのか。

村長 相談件数は、今年度4月1日から1月末までで992件。待機者は、10月1日現在、在宅で31名である。

質問 地域ケア会議と弥彦村事業所連絡調整会の役割と位置付けは。

村長 弥彦村事業所連絡調整会は、介護職員の情報交換・交流の場になっっている。今後地域ケア会議は、地域包括ケア構築に向けて地域課題を把握し、地域包括支援センターが中心となり、住民が抱えている課題とケアマネージャーの個別の問題を具体的に検討し、行政に政策提言していく場としたい。

質問 今は、行政主導でなく地域住民が主体となった団体を目指すべきであり、地域ケア会議をもっと充実させられないものか。例えばその中に警察・医師会・民生委員・区長会・障がい者の代表等を入れた組織を作れないものか。

村長 総合的にやるのが大切。国の方針もそちらの方向と思う。28年度からやって行きたい。

住民福祉課長 地域ケア会議は、弥彦・矢作・麓地区で会議を開きそのうえで全体会議を開きたい。

質問 人権啓発推進計画と住民意識調査の実施計画はあるか。

村長 人権教育・啓発推進計画委員会を設置し、弥彦村における人権に関する課題を明確にするため、住民の意識調査の経費を予算計上した。その結果を受けて29年度に準備を進める予定である。

競輪特別委員会視察報告

2月15日から16日の2日間にわたり、宇都宮競輪場とサテライト前橋を視察しました。

1日目の宇都宮競輪場では、青森競輪場を借上げのミッドナイト競輪の開催やモーニング競輪の開催について話を伺い、特にモーニング競輪は、日中の開催に比べて電話投票の売上が増えたことや早い時間帯にレースが終わるため、併用発売時の場外レースを多く売れるメリットなど有効な発売方法であるとの説明を受けました。

弥彦競輪場でも前橋競輪場を借上げてミッドナイト競輪を開催している共通点があることから活発な意見交換が行われ、弥彦競輪場でのモーニング競輪開催について話題となりました。

2日目のサテライト前橋は、商業施設の2階にある発売窓口数10窓、年間約360日も営業するコンパクトな郊外型競輪場外施設であるとの説明を受けました。



宇都宮競輪場にて

3月臨時会

3月30日

弥彦村副村長の選任

青木 勉さん(仙台市青葉区)の選任に同意しました。

現在、副村長として活躍されています。



事務局職員人事異動

平成28年4月1日付

議会事務局長

熊木 克也
(公営競技事務所長)



公営競技事務所長

高島 大介
(議会事務所長)



あとがき

議会だよりも新しい編集体制になり4回の議会報告を行い1年経過しました。

新しい村長提案に対し議論も多く、紙面校正で苦労しましたが、少しでも読みやすく分かりやすい紙面にすべく努力をしてみました。

議会傍聴をしなくても議会だよりを読めば、村の動向が分る。

校正された内容よりライブが聴きたい...と思っただけなら、是非議会に足を運んで頂きたいとの思いで、編集委員会一同取組んできました。

これから3年間、より一層みなさまに読みやすく愛される紙面になるよう努力していきます。

(工)

発行責任者 武石雅之

編集委員会 本多隆峰 柏木文男

田中満男 板倉恵一

印刷所 弥彦村 イナバ印刷